

令和5年度 グループホームふるさと桜 事業計画

【基本方針】

「満足度の高い認知症介護サービスの提供と地域における中核となる事業所作り」
「感染症、自然災害発生下における、安定した事業運営の準備」

【年間目標】

- ① 新型コロナウイルス感染症や大規模災害の発生に備え、被災下でも安定した事業運営が出来る
- ② 地域包括ケアシステムの推進を図り、地域で安定した事業所運営を行う
- ③ ご入居者の認知機能、身体機能の維持向上を図り、グループホームで長く元気に過ごしていただく
- ④ 職員の育成・定着、ICTを用いた介護業務の改革
- ⑤ 地域のケアマネジャー・事業所とのネットワーク構築、地域のニーズに沿った多様なサービスの整備により稼働率98%を目指す

【実践計画】

- ① 新型コロナウイルス感染症や大規模災害の発生に備え、被災下でも安定した事業運営が出来る

《新型コロナウイルス》

- ・新型コロナウイルス感染症発生下における業務継続計画、対応マニュアルを整備し、必要となる備品の準備を平常時から行う
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症に対し、基本的な感染予防対策を徹底すると共に、感染拡大の状況に迅速な対応をとることで、ご入居者・職員に対する感染予防に努める
- ・コロナ禍においても、ご入居者とご家族の繋がりを維持できるようオンライン面会、窓越し面会を継続すると共に、ホームでの生活状況を見て頂けるよう、ユニット内の様子をご家族限定のYouTubeで配信する

《大規模災害》

- ・南海トラフ大地震を始めとする大規模災害被災下における業務継続計画、対応マニュアルを整備し、被災想定訓練を年1回（1月17日）実施
- ・被災下でも安定した生活支援が提供できるよう、備蓄食、備品、連絡方法などを整備（備蓄食、備品は5日分、連絡ツールとしてLINEワークス）

- ② 地域包括ケアシステムの推進を図り、地域で安定した事業所運営を行う

- ・垂水区にある老健、病院などの他事業所との関わりを深く持ち、共同で地域住民に対する支援を行うことで地域に根付いた事業所運営を行う

※地域ケア会議、ふれあいのまちづくり協議会、グループホーム連絡会、医療介護サポートセンターへの参加

- ・地域交流や社会資源の活用を通し、地域を基盤とした生活が継続できるよう支援する（地域行事への参加、ボランティアの導入、近隣店舗への買い物、移動販売の活用）
 - ※コロナ感染拡大時はオンライン外出体験を実施する
 - ・地域の行事参加や清掃活動などを通じ、地域貢献に取り組む
 - ・トライやるウィークやボランティアの受け入れを行い、地域との交流を図る
 - ・運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、地域への情報の開示および情報交換を行う（新型コロナウイルス感染状況に合わせた開催方法を準備）
- ③ ご入居者の認知機能、身体機能の維持向上を図り、グループホームで長く元気に過ごしていただく
- ・センター方式を用いたアセスメント、L I F Eへのデータ提出とそのフィードバックを活用することにより、ご入居者及びご家族のニーズに沿ったサービス計画書の作成（3ヶ月毎）、科学的根拠に基づいたサービスの評価・提供の実施
 - ・毎月、外出外食の行事・屋内行事・飾りつけを企画し、屋内外で季節を感じて頂く環境を提供する
 - ・各ユニットにおいて、ご入居者のニーズに沿った行事を計画するとともに、個々のご入居者の生活歴や思い出に沿った個別支援を提供する
 - ※個別外出、オンライン外出体験の実施
 - ・定例ミーティング（週1回）及び会議（月1回）開催を通し、職員全体において情報の共有と統一したケアの実施
 - ・ご家族の行事への参加、家族会の定期開催（2回/年）を通じ、ご家族との交流の機会を設ける
 - ・第三者評価を年1回受審し、サービスの評価を行う
- ④ 職員の育成・定着、ICTを用いた介護業務の見直し
- ・全職員に対し、管理者による面談、人事考課表に基づいた能力評価を行い、仕事に対する意欲の向上、不安の軽減、人材の育成を図る
 - ・無資格、介護未経験職員に対する『介護の基礎』勉強会を開催し、介護職員の知識技術の向上を図り、やりがいのある職場環境を整備する
 - ・無資格職員の認知症基礎研修・中堅職員の認知症実践者研修・実践リーダー研修の受講により、職員一人ひとりの自己研鑽意欲の向上を図る
 - ・管理者によるリーダー研修、認知症介護リーダー研修の受講により、ユニットケアの中核となる人材の育成を図る
 - ・業務改善（署類、タイムスケジュールの見直し、労働環境の見直し）を継続するとともに、インカムやタブレット端末などを活用し業務の効率化を図る
 - ・接遇委員会を継続し、委員会による職員の接遇評価を実施。接遇を含めた介護の質に対する職員の意識を高め、温もり・安心を感じてもらえるサービスの提供を実施する
- ⑤ 地域のケアマネジャー・事業所とのネットワーク構築、地域のニーズに沿った多様なサービスの整備により稼働率98%を目指す

- ・地域のケアマネジャー、老人保健施設、病院との連携を密にし、待機者を増やす
※定期の訪問営業、LINE ワークスを活用した区内事業所のネットワーク構築
- ・ホームページ、各種 SNS、定期のメール便を活用し、地域の事業所へ GH の情報発信を行う
- ・医療ニーズの高くなる可能性のある入居者に対し、特養、ケアハウスの紹介を行う
- ・ショートステイ、ミドルステイの整備を行い、グループホームにおけるサービスの多角化を図る

グループホーム内研修予定

	内容		内容
4月	介護保険制度	10月	感染症予防
5月	身体拘束防止	11月	認知症ケア
6月	虐待防止	12月	身体拘束防止
7月	緊急時対応	1月	虐待防止
8月	介護記録	2月	緊急時対応
9月	事故対策	3月	事故対策

※『介護の基礎』勉強会は毎月開催する

外部研修予定

研修名	開催時期（令和3年度参考）
神戸市認知症介護基礎研修	6月 8月 10月 1月
神戸市認知症介護実践者研修	5月 7月 9月 11月
神戸市認知症介護実践リーダー研修	10月

災害・新型コロナウイルス発生時訓練

災害発生時対応訓練	1月 7月
新型コロナウイルス感染発生時訓練	4月 10月

年間行事予定

	行事内容		行事内容
4月	花見	10月	ぶどう狩り
5月	いちご狩り	11月	コスモス
6月	動物王国	12月	クリスマス
7月	花さじき	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

※音楽療法、フラワーアレンジメントは毎月実施

※新型コロナウイルス感染状況により、内容は変更

※個別支援に関しては、ご入居者にとって思い入れがある場所へ外出